安全で安心なまちづくりの推進に関する条例の制定など10議案が可決

6月定例町議会【町長事務報告】

6月5日から15日まで6月定例町議会が開催されました。提出議案は、条例の制定について1件、契約の締結について1件、財産の取得について5件ほか計10議案で、すべて原案のとおり可決しました。

最初に、下水道課職員が、去る5月9日に収賄の疑いで逮捕されるという不祥事が発覚しました。町民の皆様方の信頼を失うような行為があり、申し訳なく思っており、心からお詫びを申し上げます。

今回の事件にあたり、職員の綱紀粛正をより一層徹底するとともに、原因究明とチェック体制のあり方を見直し、失った信頼の回復のためには役場職員一丸となって町民の皆様方のサービスに努め、信頼を回復してまいります。

財政　決算規模は141億円前後の見込み

平成17年度中における本町の財政状況については、依然として歳入の安定確保が非常に厳しい環境でありました。一方、歳出については、行財政改革を推進し、事務経費の削減に取り組みながら、重点施策の推進に努めてきました。

決算規模は、平成16年度からの繰越分を含め、普通会計ベースで141億円前後となる見込みです。また、歳出予算の執行率は、98・2％程度と見込まれています。

企画政策　まちづくり推進懇談会を設置

住民参加のまちづくり推進への取り組みについては、行政だけでは解決できない多くの課題がある中、住民の皆様と協働により築いていくことが重要であります。このため、より住民参加の機会を拡充し、住民と行政とが良きパートナーとして連携し、それぞれの知恵と責任における取り組みとして、一般公募による「住民と行政の協働によるまちづくり推進懇談会」を設置します。

後期5カ年実施計画については、計画財源の確保がこれまでにも増して厳しい状況になるものと予想されますので、計画事業の実施にあたっては、今後も町民の重要度・満足度を的確に把握し、複雑・多様化する行政需要に対応するよう事務事業の点検評価を行っていきます。

生活環境　住民・事業者・行政による美化運動を推進

ごみの散乱防止と環境保全意識の高揚を図ることから、ゴミゼロ運動が実施され、雨天にもかかわらず町内全域の各区、自治会等84団体の方々にご協力をいただき、約4,300人の参加を得て、7・72トンの空き缶などを回収することができました。

このほか、町には清掃活動を自主的に行っているボランティア団体がおり、環境美化にご協力をいただいていますが、今後も住民・事業者・行政が一体となり環境美化運動の推進を図っていきます。

観光　(仮称)海の家等適正利用調整会議を設置

白里海岸の海の家は、国による強制執行により、すべての撤去が完了しました。撤去後の本格的な整備に向けて協議を進め、環境影響評価を実施の上、千葉県環境審議会に諮り、合意をいただいています。

今年度は、海岸駐車場の舗装整備、海岸のトイレ改築を行い、利便性の向上と観光地としてのイメージアップに取り組んでいきます。また、今後は県の指導に基づき、(仮称)「海の家等適正利用調整会議」を設置し、秩序ある海岸利用を推進していきます。

海開き式も7月14日に開催される運びとなっており、8月下旬まで海水浴場を開設します。この期間中には、夏期観光安全対策本部を設置し、万全を期していきます。

第8回目となる「地曳きまつり」は、7月29日に開催する予定で、なつまつり実行委員会が検討を重ねているところです。

▲7月14日に海水浴場がオープン！
海開き式に安全祈願祭を執り行います

スポーツ振興　アリーナ工事が完了 8月にオープン

大網白里アリーナ建設工事については、5月に工事が完了し、建築基準法・消防法による検査が終了しました。

6月には事務所等の移転を行い、8月6日に落成式、同月26日にNHKと共催の健康フェアを開催します。また、多くの方々が記念式典に参加いただけるよう、記念事業実行委員会を中心に準備を進めているところです。

▲大網白里アリーナが完成！
8月から使用可能となるメーンアリーナ

学校教育　学校施設整備の着工に向け発注準備

平成10年度から「朝の読書」に取り組んでいますが、本年度は、季美の森小学校が読書活動優秀実践校として文部科学大臣表彰を受賞しました。今後も、町内全校が受賞することを目指して学校教育の充実と推進を図っていきます。

水泳教室については、全小学校で予定しており、インストラクターによる救助活動等を含めた実践的な指導を通して、安全への意識高揚と泳力の向上が図られることを期待しています。

主要な施設整備については、大網中学校の剣道場床改修工事やグラウンド門扉設置工事、増穂中学校の便所衛生設備改修工事、白里小学校の下水道接続工事等を予定しており、夏休みの着工を目指し、発注の準備を進めています。

大網病院議　一般100病床に変更協議

新医師臨床研修の必修化に伴い、医師不足が問題となっている中で、近隣の公立3病院においても医師の減少に伴う病棟閉鎖、外来診察の縮小がされ、救急医療を含めて深刻な問題となっています。

大網病院でも増加傾向の急性期患者への対応には、現看護体制では難しく、医療安全の観点からも看護師の確保は重要であることから、一般80床と療養20床の病床配分の見直しを行い、一般100床に変更すべく、関係機関との協議を進めています。

栄養士だより㊷

夏を元気に～ビタミン、水分の補給を～

暑い夏がやってきました。汗をかく時期は、体内のビタミンが不足しやすいため、疲れやすくなります。また、食欲が出ないという方もいるでしょう。さらに、体に必要な栄養素が不足してくれば、夏ばてをおこすことになります。

1日3食の食事はなるべく規則正しく、必ずとるようにしましょう。食べない習慣がついてしまうと、体も慣れてしまい、いざ食べようとすると胃腸がいまいち…ということもあるようです。

特に朝食は1日のスタート。脳を活性化させるためにも重要です。食べるときはバランスのよい食事を心掛けましょう。主食（米やめんなど）、たんぱく質（卵、魚、肉、豆など）、野菜（色の濃い野菜を中心に）を組み合わせるとよいでしょう。

また、夏は意識的に水分補給をしましょう。水やお茶類がお勧めです。牛乳はカルシウムが豊富ですが、脂肪の取り過ぎにならないよう1日の摂取量は200～300cc程度にしましょう。その他、ジュース・缶コーヒー類には糖分が、スポーツドリンクには糖分や塩分が含まれているため、飲み過ぎないように注意しましょう。

水分は必要以上に取り過ぎてしまうと、胃液を薄めてしまうため、食べ物が消化しにくくなります。上手な水分補給を心掛けてください。毎日の食生活を再度見直し、夏を健康的に過ごしましょう。

問健康福祉課健康指導係
☎（72）8321

保健師だより

夏休みは親子でゆっくりと読書タイム！

もうすぐ夏休みがはじまりますね。子どもたちにとっては楽しみな夏休みも、親にとってはちょっと憂うつ？毎日何をして遊んだらいいかなと頭を悩ませますね。そんなときは親子で読書をするのはいかがでしょうか。

子どもたちは、本を読むのも読んでもらうのも大好きです。1人で本が読める小学生のお子さんへ、たまには読み聞かせをしてあげるのもいいと思います。

また、長い休みを利用して長編の物語に挑戦するのもいいですね。最近は大人向けの絵本もたくさん出版されていますので、親子で絵本を楽しむのもお勧めです。

図書室や書店では、子どもたちが読みたい本、読める本を自分で選ばせてみましょう。親からするともっと難しい本や面白そうな本を勧めたくなるかもしれませんが、そこはぐっと我慢して。自分で決められないお子さんには、保護者の方が子どものころに読んだ本を勧めてみるのもいいですね。そうすれば、読んだ後にお互いに感想を語り合って会話が弾むことでしょう。

学校でも読書の時間を設けるなど、読書習慣を身につける取り組みが積極的に行われています。読書は、想像力や考える力を養い、言葉を育てるといわれています。さらに子どものころのすてきな本との出会いは、大人になってからも忘れることのできない思い出となります。

この夏、読書を通してすてきな思い出作りをしてみましょう。

◇町の図書室には、さまざまな種類の本がそろえてあります。本を選ぶのに困ったときなど、気軽に相談できますので、ぜひご利用ください。

問健康福祉課健康指導係
☎（72）8321
大網白里町図書室
☎（72）8383